

夜間中学シンポジウムでの質問事項について

	質問事項	回答
制度のこと	<p>昼間の中学校と何が違うのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湖南省の夜間中学は、甲西中学校に夜間学級として設置される公立中学校の一部です。入学対象者や授業時間、教育課程などいくつかの点を除けば、原則として昼間の中学生と同じ扱いで、卒業すれば高校受験も可能です。</li> </ul>
入学に関すること	<p>全日制高校(含昼間定時制高校)に通いながら、夜間中学に通う事はできますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間中学と高等学校と同時に在籍することはできません。</li> </ul>
	<p>定員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目で30名が入学すれば、2年目以降の入学はどうなりますか。</li> <li>・ 毎年30名の募集ですか。</li> <li>・ 定員およそ30名は3学年あわせての人数ですか。</li> <li>・ 応募が多い場合の対応について教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集定員はありません。しかし開設時の施設や教員配置は生徒数30名程度を想定しています。</li> <li>・ 生徒数30名は開設初年度の入学者総数です。2、3年生から始める生徒がいる場合もあり、全員が1年生とは限りません。</li> <li>・ もし、収容規模を超えた入学者があった場合は、受け入れ体制の整備のために一時待機していただく場合があります。</li> </ul>
	<p>面接について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接では何を聞かれますか。</li> <li>・ 入学時の面接において、日本語が話せない外国人に対する配慮はありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 志望動機やこれまでの就学状況、現在の就労状況等の確認をさせていただきます。</li> <li>・ 原則として通訳者の同席を認めます。また、面接時に翻訳・通訳機器の併用も検討しています。</li> </ul>
	<p>母国で義務教育を終えている外国人の受け入れは可能ですか(他の自治体は高校卒業をしている場合でも受け入れている場合があると聞いたことがあります)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能です。入学希望者には、面接の際に母国や日本での就学状況等を確認して判断します。</li> <li>・ 入学資格の一つは、「中学校の未修了の人、または不登校などさまざまな理由により十分に学ぶことができなかった人」です。これは国籍や卒業に関係ありません。</li> </ul>
	<p>仕事終わりに1時間目が間に合わない場合、入学することはできないですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労状況や頻度によります。面接の際に相談してください。</li> <li>・ 欠席や遅刻が多いと進級や卒業ができないことがあり、当初より卒業が見通せない場合は入学を許可しないことがあります。</li> </ul>

教育課程、 学校生活に関する こと	交通費等の補助はありますか。	・交通費の補助はありませんが、学校が発行する「通学定期券購入兼用証明書」によって、中学生用の通学定期券を利用することができます。
	・長くどれくらいの期間、夜間中学校に通うことができますか。 ・どういう基準で卒業ができますか。	・1年生に入学した場合は、卒業するまで3年間（就学年限）と昼間の中学生と同じです。しかし、生徒の就学状況等を踏まえて校長が進級や卒業を判定するため、それより長く学校に通う場合があります。また、その判定は年度ごとに行われますのであらかじめ最長何年と決まっているわけではありません。 ・中学校の全課程を修了した（中学校での学びをすべて身につけた）と校長が認めた場合に卒業証書を授与します。
	・自閉症や知的障害を持っている人も入学できますか。 ・LD や ADHD など、その人の特性により個別の支援が必要な人にも対応してもらえるのでしょうか。	・甲西中学校夜間学級は通常学級を想定して教育課程を編成しています。 ・障害や特性は個々に状況が異なりますので、合理的配慮が必要な場合等は、事前に教育委員会にご相談ください。
	1人1台のタブレットは夜間学級の生徒にも用意されるのでしょうか。また、学習に必要な備品が出てきた場合、湖南市の予算で購入するのでしょうか。	・昼間の中学生と同様に、1人1台のタブレットは夜間学級の生徒にも貸与する予定です。 ・学校の施設・設備の整備、学習に必要な物品の調達は、国や県の支援を受けつつ湖南市で行います。 ・なお、受益者負担が望ましい校外学習費（遠足の交通費、入館料など）や一部の教材等については実費がかかる場合があります。
	日本語教師の配置はありますか。	・日本語指導が必要な生徒の人数に応じて、日本語指導教員の配置について検討を進めます。
小さな子どもがいる方なども学べるよう、地域の力を生かした託児を設置することはできますか。	・市で学校またはその近隣への託児環境の整備については、現在のところ予定していません。地域で受け皿がある場合は、入学時の面接で該当する方に案内することは可能です。	
その他	高校入試と成績について ・夜間中学卒業生であることはわかりますか。 ・過年度扱いになりますか。 ・成績の評定は行いますか。	・夜間学級においても昼間の中学生と同様に、進路指導や高等学校受験を希望する場合は進路相談を行います。 ・高等学校入学者選抜のあり方は毎年見直されています。願書や調査書の書式を含めて今後変更される場合があります。したがって、甲西中学校夜間学級が開設される2025年度の入学者の高校受験時における取り扱いは、現時点では分かりません。 ・基本的には昼間の中学校と同様に、教科等について学習評価と成績の評定を行いますが、その方法や内容については、学習者の学びの状況に応じて適切なものとなるよう、学校で検討します。
	教職員の配置や夜間中学設置に向けての事務局の人員について	・県教育委員会と検討、調整をしながら準備をしております。